

平成24年度
大阪府学力・学習状況調査
分析結果

泉佐野市教育委員会

平成24年10月

はじめに

平成19年度より文部科学省が実施してきました「全国学力・学習状況調査」は、3年間の悉皆調査の後、平成22年度より抽出調査となり、平成23年度も実施が予定されていましたが、東日本大震災により見送られました。

今年度は、「全国学力・学習状況調査」は抽出調査でしたが、小中学校が参加できる調査として「大阪府学力・学習状況調査」が実施され、本市の全小中学校が参加いたしました。

この調査は、小学校6年生と中学校3年生の児童生徒を対象とし、学力に関しては、小学校では国語と算数、中学校では、国語、数学、英語の調査が行われ、併せて児童生徒の学習や生活の状況、学校の取組みに関する調査も行われました。

さて、本市においては、平成20年度より、保護者や市民の皆さまに本市の児童生徒の状況をより具体的に示し、教育への理解と関心をもっていただくため、全国や大阪府の学力・学習状況調査の分析結果を公表してまいりました。本年度も、分析が終了しましたので、公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないこと、また、各学校では、様々な取組みを進めていることを十分ご理解いただきますよう、お願いいたします。

最後になりましたが、「いずみさの教育文化運動」も4年目となり、本年12月には、第4回「教育フォーラム」を泉佐野市PTA連絡協議会と共催で開催いたします。学校・園における授業・保育づくりや人間関係づくりなど、学力向上のための取組みや実践をご報告できるものと考えています。

これからも、教育行政ならびに学校・園の教育活動にご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成24年10月

泉佐野市教育委員会
委員長 赤木 攻

大阪府学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することにより、大阪の児童生徒の課題の改善に向けた教育及び教育施策の成果と課題を検証し、府内全体の児童生徒の学力及び学習状況の改善を図る。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、児童生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を把握し、その改善を図る。
- (3) 各学校が、児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導の改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学校力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (4) 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成24年 6月12日（火）

3. 調査の対象

小学校第6学年全児童及び中学校第3学年全生徒

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、小学校で国語及び算数、中学校で国語、数学及び英語とする。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童生徒アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

小 学 校

(平成24年6月12日実施 1,058名参加)

国語に関する分析

算数に関する分析

児童質問紙の分析

学校質問紙の分析

大阪府教育委員会が公表している平均正答率には
公立・私立を含んだ数値もありますが、
本市では、公立のみの平均正答率を使用しています。

平成24年度大阪府学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校国語

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・問題数は18問。正答数分布は、大阪府とほぼ同様であるが、大阪府と比べ上位層がやや少なく中位層がやや多い。
平均正答率（泉佐野市 71.6/大阪府 73.1）

「B区分問題」

- ・問題数は10問。正答数分布は、大阪府とほぼ同様であるが、大阪府と比べ上位層がやや少なく、中位層・下位層がやや多い。
平均正答率（泉佐野市 63.5/大阪府 65.5）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/大阪府正答率）

国語A	設問からの分析
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○聞き手が理解しやすいように、話し全体の構成を工夫することは概ねできている。</p> <p>5 二 スピーチの工夫として適切なものを選択する。(86.0/86.7)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○話の要点を聞き取り、効率よく正しくメモを取ることは概ねできているが、分の構成や表現を確かめ、正しく推敲することに課題がある。</p> <p>6 一 聞いた話をもとに作り方のメモ中に入る適切な内容を書く。(84.5/85.9)</p> <p>6 二 作り方メモの書き直し方を説明したものとして適切なものを選択する。(46.0/47.9)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○説明的な文章の内容を適切に押さえながら読むことは概ねできているが、物語文の登場人物の心情について、表現や叙述に即して読むことに課題がある。</p> <p>7 説明的な文章の題名として適切なものを選択する。(81.6/84.2)</p> <p>8 物語の一部を読んで、登場人物の心情として適切なものを選択する。(43.5/46.5)</p>	<p>【言語事項】</p> <p>○前学年までに配当されている漢字を読むこと、書くことは概ねできているが、出題された漢字によって正答率に差がある。</p> <p>1 イ きかい（→機械）(56.7/57.8)</p> <p>1 ウ きょうりよく（→協力）(94.1/92.2)</p> <p>2 イ 減少（→げんしょう）(86.4/91.2)</p> <p>2 ウ 易しい（→やさしい）(87.8/84.9)</p> <p>○ローマ字で表記されたものを正しく読むことは概ねできているが、漢字で表記されたものをローマ字で書くことに課題がある。</p> <p>3 1 Sapporo（→さっぽろ）(76.1/80.1)</p> <p>3 2 秋田（→Akita）(47.2/53.9)</p> <p>○文脈における意味を考えながら、同音異義の漢字を使い分ける問題では、出題された漢字によって正答率に差がある。</p> <p>4 一 ア メンバーでコウ成されている（→「構」を選択）(72.4/73.7)</p> <p>4 一 イ バスケットボールにカン心がある人（→「関」を選択）(31.4/30.8)</p>

国語B	設問からの分析
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○話し手の意図をとらえながら聞き、意見と理由をまとめることは概ねできているが、司会者として発言者の提案を聞き、内容を整理することに課題がある。</p> <p>2 一 司会として発言を聞き、内容を整理して書く。(57.8/61.8)</p> <p>2 二 記録係として発言を聞き、意見と理由を整理して簡潔に書く。(83.1/85.6)</p>	<p>【書くこと】</p> <p>○伝えたいことと資料とを関連付け、資料を効果的に提示することに課題がある。</p> <p>3 三 三枚の写真の中から、新聞に入れる写真として適切なものを選択し、その写真を選択した理由を書く。(76.1/82.0)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○必要な情報を関係付けて読み、理由を明確にして説明することに課題がある。</p> <p>4 三つのコンクールの中から、応募条件に合ったものを選び、そのコンクールを選択した理由を書く。(38.4/41.3)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	大阪府	5PO 3P△	差
解答時間は十分でしたか（国語A）	77.8 (51.1)	79.4 (51.8)		1.6
解答時間は十分でしたか（国語B）	77.8 (43.0)	81.6 (41.5)	△	3.8
国語の調査で、解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力した。	88.2	90.6		2.4
国語の勉強は好きだ	50.7 (52.0)	56.7 (55.6)	○	6.0
国語の授業の内容はよく分かる	84.2 (84.5)	84.8 (83.6)		0.6
国語の授業で、その時間のめあてや目標をはっきり持って活動している	54.6 (58.1)	59.6 (58.0)	○	5.0
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している	49.7 (53.2)	55.3 (53.6)	○	5.6
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気をつけて書いている	69.8 (75.0)	73.0 (72.6)	△	3.2
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごととに内容を理解しながら読んでいる	73.4 (78.0)	76.4 (76.1)	△	3.0
読書が好きだ	73.0 (74.1)	76.4 (76.2)	△	3.4
1日当たりまったく読書をしない	21.7 (20.5)	18.4 (17.1)	△	3.3

※（ ）は平成23年度大阪府学力・学習状況調査より

- 「国語の勉強が好きだ」と回答している児童が半数程度（50.7%）で大阪府平均を6.0ポイント下回っていることは課題である。
- 「国語の授業で、その時間のめあてや目標をはっきり持って活動している」と回答している児童が54.6%で、大阪府平均を5.0ポイント下回っていることは課題である。
- 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」と回答している児童が半数以下（49.7%）で大阪府平均を5.6ポイント下回っていることは課題である。
- 「1日当たりまったく読書をしない」と回答している児童が5人に1人程度（21.7%）であることは課題である。「国語の授業の内容はよく分かる」と回答している児童が84.2%で、授業内容が工夫されていると考える。

平成24年度大阪府学力・学習状況調査

設問別調査結果（小学校） [国語A：主として知識]

設問別集計結果

設問番号	問題番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			泉佐野市	大阪府
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率（％）
1		ア 文脈に即して漢字を正しく書く（およいだ）				○				○	○		83.9	85.8	
2	1	イ 文脈に即して漢字を正しく書く（きかい）				○				○	○		56.7	57.8	
3		ウ 文脈に即して漢字を正しく書く（きょうりよく）				○				○	○		94.1	92.2	
4		ア 文脈に即して漢字を正しく読む（率いて）				○				○	○		87.7	89.5	
5	2	イ 文脈に即して漢字を正しく読む（減少）				○				○	○		86.4	91.2	
6		ウ 文脈に即して漢字を正しく読む（曇しい）				○				○	○		87.8	84.9	
7		1 ローマ字を読む（さっぽろ）				○				○	○		76.1	80.1	
8	3	2 ローマ字で書く（Akita）				○				○	○		47.2	53.9	
9		一 ア 正しい漢字を選択する（同音異義語：構成）				○				○	○		72.4	73.7	
10		一 イ 正しい漢字を選択する（同音異義語：関心）				○				○	○		31.4	30.8	
11	4	二 国語辞典を利用して調べる言葉を言い切りの形に直して書く				○				○	○		88.8	84.9	
12		三 国語辞典を利用して、複数の意味の中から適切なものを選択する				○				○	○		52.8	56.4	
13		一 スピーチの内容に即して、カードを並べかえる	○						○	○			82.0	82.8	
14	5	二 スピーチの工夫として適切なものを選択する	○						○				86.0	86.7	
15		一 聞いた話をもとに作り方のメモの中に入る適切な内容を書く		○				○			○		84.5	85.9	
16	6	二 作り方のメモの書き直し方を説明したのものとして適切なものを選択する		○							○		46.0	47.9	
17	7	説明的な文章の題名として適切なものを選択する			○						○		81.6	84.2	
18	8	物語の一部を読んで、登場人物の心情として適切なものを選択する			○						○		43.5	46.5	

平成24年度大阪府学力・学習状況調査
設問別調査結果（小学校） [国語B：主として活用]

設問別集計結果

設問番号	問題番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			泉佐野市	大阪府
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	国語の伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率（％）
1	1	一 説明文を読み、その内容をまとめた表の空欄に適する文を書く		○	○				○	○		○		74.9	75.4
2		二 一文を入れるのにふさわしい場所を選択する			○					○		○		58.7	59.7
3	2	一 司会として発言を聞き、内容を整理して書く	○					○					○	57.8	61.8
4		二 記録係として発言を聞き、意見と理由を整理して簡潔に書く	○					○				○		83.1	85.6
5		三 司会の進め方の良いところの説明として適切なものを選択する	○					○	○			○		69.0	70.1
6	3	一 かべ新聞の構成を説明したものとして適切なものを選択する		○	○					○	○	○		62.6	63.0
7		二 かべ新聞の記事に、適切な小見出しを書く		○						○		○		63.3	63.8
8		三 三枚の写真の中から、新聞に入れる写真として適切なものを選択し、その写真を選択した理由を書く		○	○			○		○	○		○	76.1	82.0
9	4	四 お知らせのポスターにぬけている情報を書く		○						○		○		50.9	52.3
10		三つのコンクールの中から、応募条件に合ったものを選び、そのコンクールを選択した理由を書く			○			○				○		38.4	41.3

平成24年度大阪府学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校算数

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・ 問題数は18問。正答数分布は、大阪府とほぼ同様である。

平均正答率（泉佐野市 63.0 / 大阪府 63.6）

「B区分問題」

- ・ 問題数は15問。正答数分布は、大阪府とほぼ同様であるが、大阪府と比べ下位層がやや多い。

平均正答率（泉佐野市 40.4 / 大阪府 42.9）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/大阪府正答率）

算数A	設問からの分析
<p>【数と計算】 ○小数の乗法の計算や異分母分数の減法の計算、分数の除法の計算は概ね理解できている。 1 (3) 4×2.8 を計算する。 (87.8/87.5) 1 (4) $\frac{1}{3} - \frac{1}{9}$ を計算する。 (83.0/82.5) 1 (5) $\frac{4}{9} \div 2$ を計算する。 (90.3/88.6) ○整数の性質や小数を分数にすることは概ね理解できているが、概数についての理解や加減乗除の解と元の数の大小を判断することにやや課題がある。 2 (1) 3つの数の共通の約数を選ぶ。(87.8/90.2) 2 (2) 0.37 を分数で表す。 (96.6/85.1) 2 (3) 25840 を 26000 にした方法を選ぶ。(44.7/38.9)</p>	<p>【量と測定】 ○三角形の面積における、底辺と高さ関係について理解することに課題がある。 4 正方形の半分の三角形と同じ面積の図形を選ぶ。(45.7/49.9) 【図形】 ○図形の合同については概ね理解できているが、円周率について理解することに課題がある。 6 (1) 与えられた図形と合同な図形を選ぶ。(93.9/93.9) 【数量関係】 ○四則の混合した計算や比例、割合の求め方を理解することに課題がある。 8 与えられた数量の組み合わせから1冊あたりの値を求め該当する項目を選ぶ。(55.1/62.0) 9 $33,000 \text{ km}^2$ の6%を求める式をかく。(16.7/20.6)</p>

算数B	設問からの分析
<p>【数と計算】 ○値引き後の値段を求めることやえんぴつの本数と値段の関係を理解すること、2つの店のえんぴつの本数と値段の関係をもとに、比較することに課題がある。 4 (1) 値引き後の値段を求める式を選ぶ。(35.2/41.5) 4 (2) えんぴつ9本の値段と割引きが適用される10本の値段の差を求める。(42.0/47.6) 4 (3) 2つの店のえんぴつの本数と値段の関係をもとに、値段の差を求める。(19.8/22.6) 【図形】 ○直方体の構成に着目して複合図形の一部を移動させて直方体をつくることや直方体の辺の長さに着目して立方体を構成することに課題がある。 2 (3) 立方体を作るのに必要な積み木の個数を求める。(23.5/25.9)</p>	<p>【量と測定】 ○地図から必要な情報をよみとり、図形の性質を用いて、面積を求め、説明することに課題がある。 5 (3) 平行四辺形の性質を用いてばらの数の求め方を答える。(9.9/12.6) 【数量関係】 ○条件を満たすような組合せを判断し、その説明をすることに課題がある。 1 (2) 条件からおかずを選び、その理由を答え(16.6/19.2) ○総量が増えている棒グラフから量を読み取ることや総量が増えている棒グラフを割合の観点からとらえることに課題がある。 3 (2) 「60歳以上の人数」の変化について、適切な内容を選ぶ。(29.8/32.8) 3 (3) 「60歳以上の人数」の割合の変化の様子について答える。(7.5/9.0) ◎ 4 (1) 4 (2) 4 (3) は【数と計算】と【数量関係】の2領域に関連した問題で、双方に課題がある。</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	大阪府	5 P O 3 P Δ	差
解答時間は十分でしたか（算数A）	81.8 (79.1)	82.7 (77.8)		0.9
解答時間は十分でしたか（算数B）	68.2 (79.3)	67.9 (78.4)		0.3
算数の調査で、言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題について、最後まで書こうと努力した	80.9 (84.2)	83.6 (84.5)		2.7
算数の勉強は好きだ	62.5 (61.8)	62.4 (57.7)		0.1
算数の授業の内容はよく分かる	77.4 (80.7)	79.7 (78.0)		2.3
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える	73.1 (76.1)	73.9 (73.0)		0.8
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている	77.7 (81.1)	79.4 (77.0)		1.7
算数の授業で、問題の解き方や考え方が分るようにノートなどに書いている	77.8 (78.6)	79.4 (76.8)		1.7
算数の授業で問題の解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考える	73.7 (77.3)	74.0 (73.2)		0.3
算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える	47.8 (48.3)	51.4 (47.4)	Δ	3.6

※（ ）内は平成23年度大阪府学力・学習状況調査より

- 学習状況調査の中で、大阪府との差が著しいものは10項目のうち1項目であり、大阪府とほぼ同様の傾向であった。
- 「算数の勉強が好きだ」と回答している児童については、若干ではあるが3年連続増加傾向にある。
(平成22年度 60.0% 平成23年度 61.8% 平成24年度 62.5%)
- 「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」と回答している児童が半数未満(47.8%)であることは課題である。

「解答時間は十分でしたか（算数A）」「算数の勉強は好きだ」以外のすべての項目において、昨年度よりポイントダウンしていることは課題であり、算数の授業方法のさらなる工夫改善が必要である。

設問別集計結果

設問番号	問題番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			泉佐野市	大阪府
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率（％）
1	1	(1) $350 - 137 + 150$ を計算する	○					○			○		72.9	73.9
2		(2) $20 - 2.1$ を計算する	○					○			○		73.7	71.5
3		(3) 4×2.8 を計算する	○					○			○		87.8	87.5
4		(4) $\frac{1}{3} - \frac{1}{9}$ を計算する	○					○			○		83.0	82.5
5		(5) $\frac{4}{9} \div 2$ を計算する	○					○			○		90.3	88.6
6		(6) $20 - 10 \div 2$ を計算する				○		○			○		56.0	59.2
7	2	(1) 3つの数の共通の約数を選ぶ	○					○	○				87.8	90.2
8		(2) 0.37を分数で表す	○					○			○		95.6	85.1
9		(3) 25840を26000にした方法を選ぶ	○						○	○			44.7	38.9
10		(4) 任意の数に0.8を加減乗除する計算のうち、結果がその任意の数より小さいものを選ぶ	○						○	○			45.7	49.9
11	3	分度器を用いて 180° を超える角度を測る		○				○			○		33.8	33.2
12	4	正方形の半分の三角形と同じ面積の図形を選ぶ		○					○	○			36.3	41.5
13	5	面積と人数の関係で、正しい内容の文を選ぶ		○					○	○			37.8	38.6
14	6	(1) 与えられた図形と合同な図形を選ぶ			○				○	○			93.9	93.9
15		(2) 直方体を完成させるのに必要な図形を選ぶ			○				○	○			71.0	72.8
16	7	円周率の求め方で正しいものを選ぶ			○				○	○			51.8	55.6
17	8	与えられた数量の組み合わせから1冊あたりの値を求め該当する項目を選ぶ				○		○		○			55.1	62.0
18	9	$33,000\text{km}^2$ の6%を求める式をかく				○			○		○		16.7	20.6

設問別集計結果

設問番号	問題番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			泉佐野市	大阪府
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率（％）
1		(1) 熱量を計算し、棒グラフをかく				○		○		○			72.7	73.0
2	1	(2) 条件からおかずを選び、その理由を答える				○		○			○		16.6	19.2
3		(3) 表から割合をもとめ、適切なグラフを選ぶ				○		○		○			57.4	58.4
4		(1) 階段状に積まれた積み木（同じ大きさ、形）の一部を移動させ、立方体のため、横、高さを求める				○		○			○		63.2	63.1
5	2	(2) 階段状に積まれた積み木（同じ大きさ、形）の一部をまとまりで移動させ、立方体になる組合せを選ぶ				○		○			○		34.1	37.7
6		(3) 立方体を作るのに必要な積み木の個数を求める				○		○			○		23.5	25.9
7		(1) 「農業で働く人の総数」の減り方について適切な内容を選ぶ				○		○			○		61.6	63.0
8	3	(2) 「60歳以上の人数」の変化について、適切な内容を選ぶ				○		○			○		29.8	32.8
9		(3) 「60歳以上の人数」の割合の変化の様子について答える				○		○			○		7.5	9.0
10		(1) 値引き後の値段を求める式を選ぶ	○			○		○			○		35.2	41.5
11	4	(2) えんぴつ9本の値段と割引が適用される10本の値段の差を求める	○			○		○			○		42.0	47.6
12		(3) 2つの店のえんぴつの本数と値段の関係をもとに、値段の差を求める	○			○		○			○		19.8	22.6
13		(1) 図形の性質をもとに、同じ道のりの図を選ぶ				○		○			○		57.8	59.4
14	5	(2) ㉠の花だんの情報（辺の長さ）と㉡に描えらるばらの数（辺の長さ）をもとに㉢に描えらるばらの数を求める		○				○			○		75.5	77.8
15		(3) 平行四辺形の性質を用いてばらの数の求め方を答える		○				○			○		9.9	12.6

小学校学習状況調査【児童質問紙85問】より分析 概要

泉佐野市の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（66問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（19問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを大阪府と比較している。

下記の表には、資料から大阪府と比較して回答率に5%以上差のあるものを列挙した。また、下線部に関しては10%以上の差があるものを示している。（*表中の●は、正答率と関係がある。）

設問内容種類別の大阪府との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	質問事項	＜泉佐野市回答率／大阪府回答率＞
【家庭生活の様子】	<input type="radio"/> あなたの家の人は、学校や地域の活動に参加している。 <input type="radio"/> ふだん（月から金）、何時ごろに起きますか。 <div style="text-align: right;">7時までに起床＜68.8／63.0＞</div> <input type="radio"/> 自分だけが使うものとして、持っているものは何か。 <div style="text-align: right;">自分の部屋＜62.3／57.2＞</div> <input type="radio"/> 携帯電話で通話やメールをしている。 <div style="text-align: right;">＜43.6／38.6＞</div> <input type="radio"/> 携帯電話の使い方と約束したことを守っているか。 <div style="text-align: right;">携帯電話を持っていない＜49.6／54.9＞</div> <input type="radio"/> 今住んでいる地域の行事に参加している。 <div style="text-align: right;">＜44.7／52.6＞</div> <input checked="" type="radio"/> 中学校を卒業したらどうしたいと思っているか。 <div style="text-align: right;">すぐ仕事に就く、高校まで進学＜39.0／31.9＞</div>	
【家庭学習の様子】	※大阪府と比較して特徴のある項目はなし。	
【学校での学習の様子】	<input checked="" type="radio"/> 国語の勉強は好きだ。 <div style="text-align: right;">＜50.7／56.7＞</div> <input checked="" type="radio"/> 国語の授業で、その時間のめあてや目標をはっきり持って活動している。 <div style="text-align: right;">＜54.6／59.6＞</div> <input checked="" type="radio"/> 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。 <div style="text-align: right;">＜49.7／55.3＞</div> <input checked="" type="radio"/> チャイムが鳴ったら席につくようにしている。 <div style="text-align: right;">＜74.8／82.6＞</div> <input type="radio"/> ふだんの授業では、本やインターネットを使って調べる活動をよく行っている。 <div style="text-align: right;">＜34.5／40.4＞</div> <input checked="" type="radio"/> ふだんの授業では、自分の考えをノートやプリントにまとめる活動をよく行っている。 <div style="text-align: right;">＜69.6／75.4＞</div> <input type="radio"/> 朝の学習などで、計算や漢字の問題を短い時間でくりかえし行う学習によって力がついた。 <div style="text-align: right;">＜68.8／62.2＞</div> <input type="radio"/> 何のために勉強しているか。 <div style="text-align: right;">社会に出て役立つようにするため＜31.1／37.0＞</div>	

平成24年度大阪府学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）小学校質問紙

回答項目が3項目以上ある場合における割合については、肯定的・否定的な回答の2つの区分で判断して算出（「よく行った・どちらかといえば行った」を肯定的な回答ととらえた）した上で、肯定的な回答の割合を示した。

学習規律について・・・昨年よりやや改善されているが、まだまだ課題があり、学力との関連も深いと考えられるため、引き続き指導の徹底が必要である。		
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府
児童は熱意を持って勉強している	84.6%	93.5%
児童は授業中の私語が少なく、落ち着いている	92.3%	93.6%
児童は礼儀正しい	76.9%	86.3%
学習規律の維持を徹底している	100.0%	99.6%
学校や地域であいさつするよう指導している	100.0%	98.7%

家庭学習について・・・課題（宿題）を与え家庭学習を促している。また、具体的な指導、積極的な働きかけについても進んでいるが、自主的な学習の進め方の指導については課題があると考えられる。		
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府
国語、算数の指導として、家庭学習の課題（宿題）を与えた	100.0%	99.8%
学校として、児童に対して家庭での学習方法について具体的に指導した	69.2%	73.2%
学校として保護者に対して児童の家庭学習を促すよう働きかけた	92.3%	89.5%
家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする宿題を出した	61.5%	75.8%

学習環境について・・・朝の「学習タイム」に取り組む学校が増加したが、併行して読書に親しむ児童を育てるための「朝の読書」を継続している学校もある。長期休業中、放課後の補充的な学習サポートの充実に課題がある。「まなびんぐサポート」が各校で始まり、今後の成果が期待できる。		
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府
「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けている（週に1回以上、定期的）	61.6%	89.2%
計算、漢字・語句等の定着について、全校が一斉に取り組む「学習タイム」等（朝学習等）の時間を毎日、または週に数回行った	92.3%	74.6%
長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施した（延べ5日以上）	30.8%	35.1%

放課後を利用した補足的な学習サポートを週に1回以上実施した	38.5%	60.1%
指導改善について・・・習熟度別の少人数による指導は広がりを見せている。指導方法においては、様々な取組み・指導が行われており、改善が進んでいる。		
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府
算数の授業において、習熟度別の少人数による指導を行っている	92.3%	94.6%
国語の授業では、様々な文や資料を読む指導を行っている	76.9%	85.1%
国語の授業では、目的や相手に応じて話したり聞いたりする指導を行っている	100.0%	90.8%
算数の授業では、実生活における事象と関連を図った指導を行っている	76.9%	81.4%
その時間のめあて（目標や課題）を明確に示して進めている	100.0%	97.1%
児童の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行っている	100.0%	93.5%
児童の発言や活動の時間を確保している	100.0%	97.6%
児童が自分の考えや意見を書く時間を取り入れた指導を行っている	100.0%	95.0%
児童が資料を適切に使って発表するような指導を行っている	76.9%	86.6%
児童が自分で調べたことや考えたことを分かりやすくまとめ、書かせる指導を行っている	76.9%	92.5%
児童が話し合う場面を取り入れた指導を行っている	92.3%	93.2%

自主活動について・・・児童の自主性を伸ばすための取組みや、集団づくりのための取組みが進んでいる。「セカンドステップ」の取組みが広がっている。		
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府
学校全体で、児童の集団づくりのための具体的な取組を行っている	92.3%	97.3%
児童一人ひとりの気持ちをつかむための具体的な取組を行っている	100.0%	94.6%
児童会活動等について、主体的な活動を促すように指導を行っている	100.0%	96.3%

学習状況調査の結果について・・・分析結果を授業改善に反映させている。しかし、学校全体での活用、保護者や地域の人たちへの公表・説明、働きかけの面で課題がある。		
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府
大阪府学力・学習状況調査等の自校の結果を分析し、指導計画等の作成や普段の授業改善に反映させている	100.0%	92.7%
大阪府学力・学習状況調査等の自校の結果を調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で活用している	76.9%	83.9%
大阪府学力・学習状況調査等の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行っている	61.5%	83.3%
大阪府学力・学習状況調査等や学校評価の結果などを踏まえた学力向上の取組みについて、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行っている	69.2%	76.2%

学校運営について・・・地域との連携、地域人材の活用については進んでおり、さらに「開かれた学校」としての取組みを進めることが望まれる。研修については、さらなる充実が望まれる。		
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府
地域の人材を外部講師として招聘した授業を行っている	84.7%	75.3%
ボランティア等による授業サポート（補助）を行っている	38.5%	72.1%
P T A や地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加している	100.0%	89.6%
学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加している	84.6%	71.8%
学校の教育活動の情報について、月に1回以上の頻度でホームページを更新している	61.6%	73.2%
地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けている	69.2%	70.9%
学校教育目標などにあわせて、学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている	77.0%	97.3%
教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしている	92.3%	97.1%
教職員集団は何事にも積極的に取り組もうという雰囲気がある	84.6%	97.3%
日常的に教職員同士で、指導方法について相談し合っている	100.0%	98.7%

中 学 校

(平成24年6月12日実施 741名参加)

国語に関する分析

数学に関する分析

英語に関する分析

生徒質問紙の分析

学校質問紙の分析

大阪府教育委員会が公表している平均正答率には
公立・私立を含んだ数値もありますが、
本市では、公立のみの平均正答率を使用しています。
また、中学校の数値には、6月13日以降に実施した
調査結果も含まれています。

平成24年度大阪府学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校国語

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・ 問題数は33問。正答数分布は、大阪府とほぼ同様であるが、大阪府と比べ上位層が少なく、中位層や下位層がやや多い。
平均正答率（泉佐野市 63.1 / 大阪府 65.1）

「B区分問題」

- ・ 問題数は9問。正答数分布は、大阪府とほぼ同様であるが、大阪府と比べ上位層が少なく、下位層が多い。

平均正答率（泉佐野市 43.8 / 大阪府 47.3）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/大阪府正答率）

国語 A	設問からの分析
<p>【書くこと】 ○書いた文章を読み返し、相手に効果的に伝わるように書き直すことに課題がある。 5三 全校生徒に呼びかける表現に書き直す。 (63.7/68.8)</p> <p>【読むこと】 ○文書の展開に即して心情をとらえることは概ねできている。 2二 登場人物が悲しんだ理由を書く。 (81.5/85.7)</p> <p>○文章全体の構成をとらえることに課題がある。 7一 段落が入る適切な位置を選択する。 (39.3/43.1)</p> <p>○目的に応じて要旨をとらえることに課題がある。 7二 問題提起に対する答えを一文で書く。 (60.9/66.0)</p>	<p>【言語事項】 ○文の成分の照応をとらえることに課題がある。 1一ア 「古くから」が直接かかる箇所を選択する。 (56.9/63.0)</p> <p>○文脈に即して漢字を正しく読むことは概ねできている。 1十キ と 1十ク と 1十ケ 漢字を読む。(特性・練る・<u>適度</u>) (91.6/93.7・81.7/82.4・96.4/96.3)</p> <p>○文脈に即して漢字を正しく書くことにやや課題がある。 1十一コ と 1十一シ と 1十一ソ 漢字を書く。 (<u>ヤクワリ</u>・<u>セイブン</u>・<u>ソウイクフウ</u>) (80.0/81.4・55.2/59.6・29.4/25.2)</p> <p>○行書の基礎的な書き方を理解することに課題がある。 8 行書の特徴を説明した言葉の組み合わせとして適切なものを選択する。 (25.3/29.1)</p>

国語 B	設問からの分析
<p>【書くこと】 ○会話の流れをとらえ、自分の考えを適切な形式で書くことに課題がある。 1三 会話の内容に沿った一文を条件に従って書く。 (60.6/66.5)</p> <p>○文章に表れている考え方をとらえ、自分の考えを、根拠を明確にして書くことに課題がある。 2三 方言を聞く機会が増えた理由を条件に従って書く。 (29.9/30.8)</p> <p>【読むこと】 ○複数の資料から必要な情報を読み取ることに課題がある。 2一 「この図」にあてはまるものを選択する。 (45.2/54.2)</p>	<p>○目的に応じて要旨をとらえることに課題がある。 2二 「方言の伝わり方」を説明した適切な言葉を抜き出す。 (10.9/11.7)</p> <p>○場面の展開や登場人物の描写などに注意して、内容を理解することに課題がある。 3一 音の違いを説明する文の空欄を完成させる部分を抜き出す。 (17.9/19.7)</p> <p>○文章の構成や展開、表現の仕方をとらえることに課題がある。 3二 表現や構成の特徴として適切なものを選択する。 (54.4/59.9)</p> <p>◎1三と2三は【書くこと】と【読むこと】の2領域に関連した問題で、双方に課題がある。</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	大阪府	5 P O 3 P Δ	差
解答時間は十分でしたか（国語A）	91.0 (94.8)	91.6 (94.4)		0.6
解答時間は十分でしたか（国語B）	86.0 (89.9)	85.4 (90.2)		0.6
国語の調査で、解答を文章で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力した	78.2	81.8	Δ	3.6
国語の勉強は好きだ	52.6 (49.8)	50.6 (49.8)		2.0
国語の授業の内容はよくわかる	71.4 (73.7)	71.4 (71.8)		0.0
国語の授業で、その時間のめあてや目標をはっきり持って活動をしている	40.5 (38.2)	45.2 (42.7)	Δ	4.7
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している	31.2 (33.1)	40.7 (39.2)	○	9.5
国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気をつけて書いている	59.5 (59.1)	61.0 (62.5)		1.5
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいる	65.5 (60.2)	65.9 (65.5)		0.4
読書が好きだ	65.4 (64.4)	68.5 (68.1)	Δ	3.1
1日当たりまったく読書をしない	43.0 (47.8)	34.6 (33.9)	○	8.4

※（ ）内は平成23年度大阪府学力・学習状況調査より

- 学習状況調査の中で、大阪府との差が著しいものは11項目のうち5項目であり、大阪府とほぼ同様の傾向であったものは6項目であった。
- 「国語の勉強は好きだ」と回答している生徒は増加傾向にある。(52.6%)
- 「国語の授業で、その時間のめあてや目標をはっきり持って活動をしている」と回答している生徒がやや増えているが、4割程度(40.5%)であることは課題である。
- 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している」と回答している生徒が大阪府平均を9.5ポイント下回っていることは課題である。
- 「国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気をつけて書いている」「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいる」と回答している生徒がやや増加傾向にあり、国語の授業に取り組む姿勢が改善傾向にある。
- 「読書が好きだ」と回答している生徒が、若干ではあるが3年連続増加傾向(平成22年度 49.7% 平成23年度 64.4% 平成24年度 65.4%)にあるが、「1日当たりまったく読書をしない」と回答している生徒が半数程度(43.0%)であることは課題である。

平成24年度大阪府学力・学習状況調査

設問別調査結果（中学校） [国語A：主として知識]

設問別集計結果															
設問	問題番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			泉佐野市	大阪府
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率（％）
1		一 ア 「古くから」が直接かかる箇所を選択する				○					○	○		56.9	63.0
2		二 イ 「絵画」と同じ組み立ての熟語を選択する				○					○	○		65.9	63.5
3		三 ウ 同じ意味を表す文を完成させる				○						○		59.5	61.7
4		四 エ 漢和辞典で調べたことをもとに、漢字の意味を選択する（光返）				○					○	○		79.5	82.9
5		五 サ 国語辞典で調べたことをもとに、語句の意味を選択する（伸びる）				○					○	○		45.2	49.3
6		六 オ 空欄に当てはまる「深い味わいがあるさま」という意味の語を選択する				○					○	○		62.6	64.4
7		七 セ 空欄に入る適切な接続の言葉を選択する				○					○	○		73.2	76.8
8	1	八 カ 適切な漢字を選択する（生産）				○					○	○		74.6	75.8
9		九 ス 適切な漢字を選択する（搦られ）				○					○	○		44.7	43.9
10		十 キ 漢字を読む（特性）				○					○	○		91.6	93.7
11		十一 ク 漢字を読む（縫る）				○					○	○		81.7	82.4
12		十二 ケ 漢字を読む（適度）				○					○	○		96.4	96.3
13		十三 コ 漢字を書く（ヤクワリ）				○					○	○		80.0	81.4
14		十四 コ 漢字を書く（セイブン）				○					○	○		55.2	59.6
15		十五 シ 漢字を書く（ソウイクフウ）				○					○	○		29.4	25.2
16		一 空欄に入る適切な副詞を選択する			○						○	○		79.4	79.1
17	2	二 登場人物が悲しんだ理由を書く			○						○	○		81.5	85.7
18		三 文章全体の書き方の特徴として適切なものを選択する			○						○	○		53.1	54.1
19		一 スピーチの工夫として適切なものを選択する	○						○		○	○		66.5	67.8
20	3	二 文を論理的でわかりやすい話の構成に並べているものを選択する	○						○		○	○		60.0	62.3
21		三 スピーチを聞いてまとめたメモの空欄に入る言葉を書く	○					○	○		○	○		77.6	78.3
22		一 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（はへたり）			○						○	○		66.6	64.5
23	4	二 「きだはしあがらず」の理由を選択する			○						○	○		64.5	68.9
24		三 「わらはれた」の主語を選択する			○						○	○		69.3	70.2
25		一 「ちらしのよいところ」として適切なものを選択する		○							○	○		62.3	65.6
26	5	二 メモをもとに、ちらしの空欄に入る言葉を書く		○							○	○		45.5	47.4
27		三 全校生徒に呼びかける表現に書き直す		○				○	○		○	○		63.7	68.8
28		一 話し合いの参加者の話し方の特徴として適切なものを選択する	○						○		○	○		55.8	57.4
29	6	二 発言の仕方の良い点を説明しているものとして適切なものを選択する	○						○		○	○		69.5	72.5
30		一 段落が入る適切な位置を選択する			○						○	○		39.3	43.1
31	7	二 問題提起に対する答えを一文で書く			○			○			○	○		60.9	66.0
32		三 文章と資料とから読み取れないものを選択する			○						○	○		45.1	49.1
33	8	一 行書の特徴を説明した言葉の組み合わせとして適切なものを選択する				○					○	○		25.3	29.1

平成24年度大阪府学力・学習状況調査

設問別調査結果（中学校） [国語B：主として活用]

設問別集計結果

設問	問題番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			泉佐野市	大阪府
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率（％）
1	—	会話の空欄にあてはまる記事の見出しを選択する			○				○		○			63.7	68.1
2	1	二つの資料を比べて読み、一方の資料の空欄にあてはまる語句を抜き出す			○				○			○		69.4	71.7
3	三	会話の内容に沿った一文を条件に従って書く	○	○		○	○	○				○		60.6	66.5
4	—	「この図」にあてはまるものを選択する			○				○		○			45.2	54.2
5	2	「方言の伝わり方」を説明した適切な言葉を抜き出す			○				○			○		10.9	11.7
6	三	方言を聞く機会が増えた理由を条件に従って書く	○	○		○	○	○				○		29.9	30.8
7	—	音の違いを説明する文の空欄を完成させる部分を抜き出す			○				○			○		17.9	19.7
8	3	表現や構成の特徴として適切なものを選択する			○				○		○			54.4	59.9
9	三	文章に合う挿絵を選び、それを選んだ理由を条件に従って書く	○	○		○	○	○				○		42.4	43.6

平成24年度大阪府学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校数学

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・ 問題数は31問。正答数分布については、大阪府と比べほぼ同じ傾向であるが、中位層にやや多く、上位層がやや少ない。

平均正答率（泉佐野市 61.3 / 大阪府 65.5）

「B区分問題」

- ・ 問題数は15問。正答数分布については、大阪府と比べほぼ同じ傾向であるが、中位層から上位層にかけてやや少ない。

平均正答率（泉佐野市 35.3 / 大阪府 40.4）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率 / 大阪府正答率）

数学A	設問からの分析
<p>【数と式】</p> <p>○正の数と負の数の四則計算に課題がある。 1 (1) $-4-6 \times 2$ を計算する。 (78.1 / 84.3)</p> <p>○単項式の除法の計算は概ねできている。 1 (3) $-6x^2y \div 2xy$ を計算する。 (86.5 / 88.5)</p> <p>【図形】</p> <p>○空間図形の構成については概ね理解できている。 4 (3) 平面図と立面図から立体をよみとり、その立体の見取図を選ぶ。 (82.6 / 85.5)</p> <p>○平行線を利用して角の大きさを求めることが概ねできている。 5 (2) 平行線を利用して角の大きさを求める。 (85.3 / 86.7)</p> <p>○証明に用いられている三角形の合同条件の理解に課題がある。 6 (1) 証明する上で必要のない記述を選ぶ。 (42.3 / 47.7)</p> <p>○合同な三角形の性質は概ね理解できている。 6 (2) 合同な三角形の対応する辺を答える。 (81.1 / 80.0)</p>	<p>○特別な四角形になるための条件の理解に課題がある。 7 (1) 平行四辺形を特別な四角形にするために加える新たな条件を選ぶ。 (29.5 / 32.7)</p> <p>○与えられた命題を記号であらわすことに課題がある。 7 (2) 平行四辺形の性質を記号で表したものを選ぶ。 (53.3 / 58.8)</p> <p>【関数】</p> <p>○比例の関係を理解し対応する値を求めることは概ねできている。 8 (1) 比例関係を示す表中の値を求める。 (82.7 / 86.6)</p> <p>○グラフで表された比例の式から変域を求めることができる。 8 (2) 比例のグラフについて、xの変域に対するyの変域を求める。 (44.9 / 52.2)</p> <p>○一次関数の変化の割合を求めることに課題がある。 10 (1) 一次関数の式から、与えられた範囲における変化の割合を求める。 (22.7 / 29.4)</p> <p>○一次関数のグラフ上の座標を求めることに課題がある。 10 (2) 一次関数のグラフ上にある格子点の座標を1つ求める。 (53.5 / 60.1)</p>

数学B	設問からの分析
<p>【図形】</p> <p>○方針にもとづいて証明することに課題がある。 3 (1) 大小2つの正方形の頂点を結ぶ2本の線分の長さが等しいことの証明を完成させる。 (29.6 / 36.0)</p> <p>○事象を数学的に解釈し、結果にいたる過程を数学的に表現することに課題がある。 5 (2) テニスボールがぴったり収まる立方体と円柱の表面積を比較して大小を判断し、その考えを書く。 (A 8.6 / 13.9, B 5.0 / 9.8)</p> <p>【関数】</p> <p>○グラフから必要な情報をよみとることに課題がある。 1 (1) レースの状況を示すグラフから、このレースが何メートルで競ったものか答える。 (61.1 / 69.4)</p>	<p>○よみとった情報を統合し、事象の特徴を的確にとらえることに課題がある。 1 (3) レースの結果、どちらが何メートル差で勝ったか答える。 (39.9 / 48.4)</p> <p>○表から必要な情報をよみとり処理することに課題がある。 4 (1) てんびんでつりあいのとれる重さを求める。 (21.4 / 27.7)</p> <p>○事象における数量の関係を見だし、数学的に表現することに課題がある。 4 (2) 「重さ」と「距離」の関係を説明した文を選び、関係式を求める。 (13.3 / 19.6)</p> <p>○事象における数量の関係を見だし、数学的に表現する問題で無解答の生徒が多いことに課題がある。 5 (2) (A 54.8 / 49.4, B 43.2 / 40.3)</p> <p>無解答率（泉佐野市 / 大阪府）</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	大阪府	5 P O 3 P Δ	差
解答時間は十分でしたか（数学A）	92.8 (95.5)	93.5 (93.8)		0.7
解答時間は十分でしたか（数学B）	82.0 (88.9)	83.1 (87.4)		1.1
数学の調査で、言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題について、最後まで書こうと努力した	59.2 (65.9)	65.8 (73.0)	○	6.6
数学の勉強は好きだ	50.1 (49.1)	50.8 (49.4)		0.7
数学の授業の内容はよく分かる	65.5 (65.2)	65.8 (66.3)		0.3
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考える	58.3 (59.8)	61.3 (60.9)	△	3.0
数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている	66.4 (66.9)	69.4 (70.2)	△	3.0
数学の授業で、問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている	68.5 (68.8)	72.2 (72.0)	△	3.7
数学の授業で問題の解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考える	58.7 (59.2)	61.8 (62.1)	△	3.1
数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える	18.0 (19.9)	25.1 (22.7)	○	7.1

※（ ）内は平成23年度大阪府学力・学習状況調査より

- 学習状況調査の中で、大阪府との差が著しいものは10項目のうち6項目あり、同様の傾向にあるものは10項目のうち4項目であった。
- 「数学の勉強が好きだ」と回答している生徒については、昨年度より若干改善されたが、半数程度（50.1%）であることは課題である。
- 「言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題について、最後まで書こうと努力した」と回答している生徒が昨年度に比べ6.7ポイントダウンしており課題である。
- 「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した生徒が5人に1人程度（19.9%）であることは課題である。（府は4人に1人程度に改善されている）
- 「数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないかを考える」「数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」「数学の授業で、問題の解き方や考え方がわかるようにノートを書いている」「数学の授業で問題の解き方が分からないとき、あきらめずにいろいろな方法を考える」と回答している生徒が昨年に比べて、わずかではあるもののいずれもポイントダウンしており課題である。

多くの項目について、ほぼ昨年と変わらない状況であるが、「数学の勉強は好きだ」「数学の授業の内容はよく分かる」以外の項目においてポイントダウンしており、学校の授業での工夫改善は評価できるものの、数学の授業における取り組む姿勢に依然として課題がある。

平成24年度大阪府学力・学習状況調査
 設問別調査結果（中学校） [数学A：主として知識]

設問別集計結果										泉佐野市	大阪府			
設問	問題番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			正答率 (%)	正答率 (%)
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量・図形などについての知識・理解	選択式	短答式		
1		(1) $-4-6 \times 2$ を計算する	○					○			○		78.1	84.3
2		(2) $\frac{1}{4}-0.5$ を計算する	○					○			○		61.9	66.2
3	1	(3) $-6x^2y+2xy$ を計算する	○					○			○		86.5	88.5
4		(4) $3x-y+\left(x-\frac{1}{2}y\right)$ を計算する	○					○			○		55.3	56.9
5		(1) $-4 < x < 3$ を満たす整数の個数を選ぶ	○							○	○		69.7	70.7
6	2	(2) 「3を加えて5倍すること」を表す式を選ぶ	○							○	○		64.1	68.0
7		(3) $x=3, y=-2$ のとき $-4x-3y$ の値を求める	○							○			76.7	80.4
8		(4) $3x-y=5$ を y について解く	○							○			59.1	62.1
9	3	(1) 連立方程式 $\begin{cases} 3x+4y=1 \\ x-y=5 \end{cases}$ を解く	○							○			67.5	71.5
10		(2) 立てた方程式で、注目した数量を選ぶ	○							○	○		47.9	51.5
11		(1) 3点から等距離にある点の作図の方法を選ぶ		○							○	○	36.3	39.7
12	4	(2) 直角二等辺三角形を180度回転させたとき、頂点Aが移動する点を選ぶ		○							○	○	48.6	50.1
13		(3) 平面図と立面図から立体をよみとり、その立体の見取図を選ぶ		○							○	○	82.6	85.5
14		(1) 二直線が平行になるための角の条件を選ぶ		○							○	○	56.0	57.7
15	5	(2) 平行線を利用して角の大きさを求める		○							○		85.3	86.7
16		(3) 五角形の内角の和を求めるときの考え方を表す式を選ぶ		○							○	○	62.0	65.6
17	6	(1) 証明をする上で必要のない記述を選ぶ									○	○	42.3	47.7
18		(2) 合同な三角形の対応する辺を答える		○							○		81.1	80.0
19	7	(1) 平行四辺形を特別な四角形にするために加える新たな条件を選ぶ		○							○	○	29.5	32.7
20		(2) 平行四辺形の性質を記号で表したものを選ぶ		○							○		53.3	58.8
21	8	(1) 比例関係を示す表中の値を求める			○						○		82.7	86.6
22		(2) 比例のグラフについて、 x の変域に対する y の変域を求める			○						○		44.9	52.2
23	9	(1) 反比例の性質を表した記述を選ぶ			○						○	○	59.2	62.3
24		(2) 反比例 $y = -\frac{4}{x}$ のグラフを選ぶ			○						○		67.9	68.3
25	10	(1) 一次関数の式から、与えられた範囲における変化の割合を求める			○						○		22.7	29.4
26		(2) 一次関数のグラフ上にある格子点の座標を1つ求める			○						○		53.5	60.1
27		(1) 給水の途中で水を止めていた時間を求める			○						○		67.4	72.0
28	11	(2) 給水管Aから1分間に出る水の量を求める			○						○		70.1	74.2
29		(3) 給水の様子について正しい記述を選ぶ			○						○		68.8	73.3
30	12	(1) 通学時間の分布を表したヒストグラムについて、20分以上かけて通学をする生徒の数を選ぶ			○						○	○	70.9	73.2
31		(2) 2枚の硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表が出る確率を求めるときの正しい考え方を選ぶ			○						○	○	73.7	73.8

設問別集計結果

設問	問題番号	設問の概要	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			泉佐野市	大阪府
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量、図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率（％）	正答率（％）
1		(1) レースの状況を示すグラフから、このレースが何メートルで競ったものか答える			○			○			○		61.1	69.4	
2		(2) スタートしてから1分後に、先を泳ぐのは「たつやさん」か「けんいちさん」か選ぶ			○			○		○			65.1	69.1	
3	1	(3) レースの結果、どちらが何メートル差で勝ったか答える			○		○				○		39.9	48.4	
4		(4) グラフの3つの交点において、二人の泳ぐ向きを表す図をそれぞれ選ぶ			○		○			○			59.4	64.0	
5		(1) 連続する3つの偶数の和が2の倍数になることを説明する	○				○				○		34.2	36.3	
6	2	(2) 連続する3つの偶数の和が(1)以外で何の倍数になるか求める	○				○				○		42.1	46.8	
7		(3) 連続する3つの偶数の和の考え方を活用した「数当てゲーム」の種明かしの説明を完成させる	○				○				○		31.3	34.4	
8		(1) 大小2つの正方形の頂点を結ぶ2本の線分の長さが等しいことの証明を完成させる		○			○				○		29.6	36.0	
9	3	(2) 正方形CEFGを点Cで回転させたとき、△BCGと△DCEの面積の和が最大になる角度を選ぶ		○			○			○			50.6	49.6	
10		(1) てんびんでつりあいのとれる重さを求める			○			○			○		21.4	27.7	
11	4	(2) 「重さ」と「距離」の関係を説明した文を選び、関係式を求める			○			○			○		13.3	19.6	
12		(3) おもりを4つまで使ってつりあいが取れる場所とおもりの個数を答える			○		○				○		31.9	34.1	
13		(1) 積み上げた4つのテニスボールの中心を結ぶ線がつくる立体の展開図を選ぶ		○			○			○			43.3	47.1	
14	5	(2) A テニスボールがぴったり収まる円柱の表面積の求め方を説明する		○			○				○		8.6	13.9	
15		(2) B テニスボールがぴったり収まる立方体と円柱の表面積を比較して大小を判断し、その考え方をかく		○			○				○		5.0	9.8	

平成24年度大阪府学力・学習調査の分析（泉佐野市）中学校英語

1. 全体の傾向

- ・問題数は30問。正答数分布は、大阪府とほぼ同様であるが、大阪府と比べ上位層がやや少なく中位層がやや多い。

平均正答率（泉佐野市 43.5 / 大阪府 48.7）

2. 学力状況調査より（泉佐野市正答率/大阪府正答率）

英 語	設 問 か ら の 分 析
<p>【聞くこと】</p> <p>○具体的な内容や大切な部分を聞き取ることは概ねできている。</p> <p>1 (1), (2) 二人の会話を聞き、その内容に対する質問の答えとなるイラストを選択する (92.6/92.2, 88.1/90.2)</p> <p>○問いかけに対する適切な応答を考えることに、やや課題がある。</p> <p>2 (2), (4) 二人の会話を聞き、最後の発語に対する応答文を選択する。 (43.9/54.5, 28.7/31.4)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○文法、語法を理解し適切な動詞の形を選択することは概ねできているが、書くことには課題がある。</p> <p>3 (1), (2) 短い英文を読み、空欄に当てはまる動詞を選択する。 (53.4/55.0, 78.8/80.5)</p> <p>4 ①, ② 文章を読み、空欄に文脈に即した単語を書く。 (41.0/43.5, 33.4/35.7)</p> <p>5 ①文章を読み、空欄に文脈に即した単語を書く。 (50.2/53.9)</p> <p>6 ②会話文と資料を読み、質問の答えとなる文の空欄に単語を書く (15.7/20.8)</p> <p>7 (1), (2) 作文を読み、質問の答えとなる文の空欄に単語を書く。 (51.9/57.4, 45.6/52.6)</p>	<p>○英語で書かれた資料の中から必要な情報を読み取ることについては概ねできている。</p> <p>8 (1), (2) 資料を読み、質問の答えとして適切なものを選択する。 (67.1/73.3, 70.8/74.5)</p> <p>○英文の中から必要な情報を読み取ることについては概ねできている。</p> <p>9 (1), (2) 英文を読み、質問の答えとして適切なものを選択する。 (63.8/67.8, 72.5/74.1)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○適切な疑問詞を選択し、メモの内容に沿った疑問文を書くことについて課題がある。</p> <p>10 (3), (5) 日本語のメモと語句リストを元に、疑問詞から始まる英文を書く。 (22.5/24.2, 31.2/32.3)</p> <p>○自分の経験や知識を元に、テーマの内容を説明する英文を書くことに課題がある。</p> <p>11 与えられたテーマに対して、それを説明する英文を書く。 (27.9/36.6)</p> <p>◎文章を読み、文脈に即した単語を書くことや、与えられたテーマに対して、それを説明する英文を書く問題で無解答の生徒が多いことに課題がある。</p> <p>5 ② (41.0/36.8)</p> <p>11 (34.5/29.6)</p> <p>無解答率（泉佐野市 / 大阪府）</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	泉佐野市	大阪府	5PO 3P△	差
あなたは、今回の学力調査の英語（４５分）の 解答時間は十分でしたか	86.4	87.2		0.8
英語の調査で、「クラスを紹介する文」を英語で 書く問題について、最後まで解答を書こうと努力 した	67.9	71.3	△	3.4
英語の勉強は好きだ	43.6 (47.3)	49.4 (49.3)	○	5.8
英語の授業の内容はよく分かる	54.8 (60.0)	58.7 (60.2)	△	3.9
英語の授業で教科書の単語や本文を読むとき、声 に出して読んでいる	57.2 (59.6)	66.7 (66.0)	○	9.5
英語の授業で習った表現を用いて、まわりの人や 先生、ALTと実際に会話をしている	14.5 (18.9)	28.8 (26.0)	○	14.3
英語の授業で、自分の考えや表現を英語で スピーチすることがある	16.5 (22.9)	38.0 (31.4)	○	21.5

※（ ）内は平成23年度大阪府学力・学習状況調査より

- 「英語の調査で、「クラスを紹介する文」を英語で書く問題について、最後まで解答を書こうと努力した」と回答している生徒について、大阪府平均と大きな差がなく、最後まで努力している生徒が多い。
- 「英語の勉強は好きだ」と回答している生徒については減少傾向にある。
- 「英語の授業の内容はよく分かる」と回答している生徒については減少傾向にある。
- 「英語の授業で教科書の単語や本文を読むとき、声に出して読んでいる」と回答している生徒について、大阪府平均を9.5ポイント下回っていることは課題である。
- 「英語の授業で習った表現を用いて、まわりの人や先生、ALTと実際に会話をしている」と回答している生徒について、大阪府平均を14.3ポイント下回っていることは大きな課題である。
- 「英語の授業で、自分の考えや表現を英語でスピーチすることがある」と回答している生徒について、大阪府平均を21.5ポイント下回っていることは大きな課題である。

平成24年度大阪府学力・学習状況調査
設問別調査結果（中学校） [英語]

設問別集計結果			設問の概要	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			泉佐野市 正答率 (%)	大阪府 正答率 (%)	
設問	問題番号			聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解	選択式	短答式			記述式
1	1	(1)							○		○			92.6	92.2	
2		(2)	＜リスニング＞ 二人の会話を聞き、その内容に対する質問の答えとなるイラストを選択する	○						○		○		88.1	90.2	
3		(3)		○						○		○		30.6	45.2	
4		(4)		○						○		○		37.4	43.3	
5	2	(1)								○		○		64.1	67.9	
6		(2)	＜リスニング＞ 二人の会話を聞き、最後の発言に対する応答文を選択する	○						○		○		43.9	54.5	
7		(3)		○						○		○		44.3	55.3	
8		(4)		○						○		○		28.7	31.4	
9	3	(1)	短い英文を読み、空欄に当てはまる動詞を選択する			○					○	○		53.4	55.0	
10		(2)			○						○	○		78.8	80.5	
11	4	①	文章を読み、空欄に文脈に即した単語を書く			○	○			○		○		41.0	43.5	
12		②			○	○				○		○		33.4	35.7	
13	5	①	文章を読み、空欄に文脈に即した単語を書く			○	○			○		○		50.2	53.9	
14		②			○	○				○		○		8.4	14.0	
15	6	(1)	会話文と資料を読み、質問の答えとなる文の空欄に単語を書く			○	○			○		○		15.4	19.1	
16		(2)			○	○				○		○		15.7	20.8	
17	7	(1)			○	○			○	○		○		51.9	57.4	
18		(2)	作文を読み、質問の答えとなる文の空欄に単語を書く			○	○			○	○		○	45.6	52.6	
19		(3)			○	○				○	○		○	17.5	23.5	
20	8	(1)			○				○		○			67.1	73.3	
21		(2)	資料を読み、質問の答えとして適切なものを選択する			○				○		○		70.8	74.5	
22		(3)			○					○		○		40.9	49.8	
23	9	(1)			○				○		○			63.8	67.8	
24		(2)	英文を読み、質問の答えとして適切なものを選択する			○				○		○		72.5	74.1	
25		(3)			○					○		○		59.8	67.1	
26	10	(2)				○	○	○				○		16.8	20.0	
27		(3)	日本語のメモと語句リストを元に、疑問詞から始まる英文を書く			○	○	○				○		22.5	24.2	
28		(4)	(1)は例文			○	○	○				○		6.2	5.4	
29	(5)				○	○	○				○		31.2	32.3		
30	11		与えられたテーマに対して、それを説明する英文を書く			○	○	○	○			○		27.9	36.6	

中学校学習状況調査【生徒質問紙92問】より分析 概要

泉佐野市の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（74問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. あてはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（18問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを大阪府と比較している。

下記の表には、資料から大阪府と比較して回答率に5%以上差のあるものを列挙した。また、下線部に関しては10%以上の差があるものを示している。（*表中の●は、正答率と関係がある。）

設問内容種類別の大阪府との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	質問事項	＜泉佐野市回答率／大阪府回答率＞
【家庭生活の様子】	○あなたの家の人は、学校や地域の活動に参加している。	＜36.8／45.3＞
	○自分だけが使うものとして、持っているものは何か。 テレビ	＜32.6／26.7＞
	自分の部屋	＜74.4／67.8＞
	●土曜日、日曜日には、どのように過ごすか。 塾や習い事	＜26.8／21.7＞
	○今住んでいる地域の行事に参加している。	＜24.0／29.7＞
【家庭学習の様子】	○家や図書館で、普段（月曜日から金曜日）、全く読書をしない。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	＜43.0／34.6＞
	●学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたり2時間以上勉強をする。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）	＜54.1／45.1＞
	●土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたり2時間以上勉強をする。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）	＜30.8／21.7＞
	●学校の宿題をしている。	＜72.2／79.3＞
【学校での学習の様子】	●数学の調査で、言葉や式を使って、わけや求め方を書く問題について、最後まで解答を書こうと努力した。	＜59.2／65.8＞
	●国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している。	＜31.2／40.7＞
	●数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える。	＜18.0／25.1＞
	●英語の勉強は好きだ。	＜43.7／49.4＞
	●英語の授業で教科書の単語や本文を読むとき、声に出して読んでいる。	＜57.2／66.7＞
	○英語の授業で習った表現を用いて、まわりの人や先生、ALTと実際に会話をしている。	＜14.5／28.8＞
	○英語の授業で、自分の考えや表現を英語でスピーチすることがある。	＜16.5／38.0＞
	●授業中に勉強以外のことで、友だちとおしゃべりすることがある。	＜58.4／63.7＞

- | | |
|--|---|
| | <p>○普段の授業では、本やインターネットを使って調べる活動をよく行っている。
<u><8.7/18.8></u></p> <p>○普段の授業では、自分の考えを発表する機会がよくある。
<u><28.6/43.2></u></p> <p>○普段の授業では、みんなで話し合う活動をよく行っている。
<u><28.9/44.2></u></p> <p>○普段の授業では、自分の考えをノートやプリントにまとめる活動をよく行っている。
<u><44.5/59.9></u></p> <p>○勉強のわからないところを、ゆっくりていねいに学習するコースや、早く進むコースなどに分かれて行う授業はよくわかる。
<u><62.1/51.1></u></p> <p>●朝の学習などで、計算や漢字の問題を短い時間でくりかえし行う学習によって力がついた。
<u><50.4/33.4></u></p> |
|--|---|

平成24年度大阪府学力・学習状況調査の分析（泉佐野市）中学校質問紙

回答項目が3項目以上ある場合における割合については、肯定的・否定的な回答の2つの区分で判断して算出（「よく行った・どちらかといえば行った」を肯定的な回答ととらえた）した上で、肯定的な回答の割合を示した。

学習規律について・・・各校とも学習規律の維持が進み、生徒は熱意をもって、落ち着いた状況で学習に取り組んでいる。学習規律は学力との関連も深いと考えられるため、引き続き指導の徹底が必要である。		
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府
生徒は熱意をもって勉強している	100.0%	88.9%
生徒は授業中の私語が少なく、落ち着いている	100.0%	88.5%
生徒は礼儀正しい	60.0%	82.5%
学習規律の維持を徹底している	100.0%	95.9%
学校や地域であいさつするよう指導している	100.0%	98.1%

家庭学習について・・・課題(宿題)を与え家庭学習を促す状況は進んでいるが、統一的な取組みとなっていない。本年度は保護者への働きかけも進んだが、具体的な指導、自主的な学習の進め方の指導について課題があると考えられる。		
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府
国語、数学、英語の指導として、家庭学習の課題(宿題)を与えた	86.7%	91.3%
学校として、家庭学習の課題の出し方について統一して取り組んだ	20.0%	44.6%
学校として、生徒に対して家庭での学習方法について具体的に指導した	40.0%	76.6%
学校として保護者に対して生徒の家庭学習を促すよう働きかけた	100.0%	88.9%
家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりする宿題を出した	40.0%	65.0%

学習環境について・・・朝の「学習タイム」として教科学習に取り組む学校が多く、反復学習を中心に学習が進められている。放課後の補足的な学習サポートに課題がある。「まなびんぐサポート」が各校で始まり、今後の成果が期待できる。		
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府
「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けている（週に1回以上定期的）	60.0%	67.2%
計算、漢字・語句、英単語等の定着について、全校が一斉に取り組む「学習タイム」等（朝学習等）の時間を毎日、または週に数回行った	80.0%	46.5%
長期休業日を利用した補足的な学習サポートを実施した（延べ5日以上）	80.0%	76.3%
放課後を利用した補足的な学習サポートを週に1回以上実施した	20.0%	56.4%

指導改善について・・・指導方法においては、様々な取組み・指導の改善が行われているものの、資料を調べたり、資料を使って発表したりするような指導に課題がある。		
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府
国語の授業では、様々な文章を読む習慣を付ける指導を行っている	80.0%	90.4%
国語の授業では、目的や相手に応じて話したり聞いたりする指導を行っている	80.0%	85.5%
数学の授業では、実生活における事象との関連を図った指導を行っている	60.0%	65.4%
その時間のめあて（目標や課題）を明確に示して進めている	100.0%	87.0%
生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導を行っている	80.0%	87.0%
生徒の発言や活動の時間を確保している	80.0%	86.6%
生徒が自分の考えや意見を書く時間を取り入れた指導を行っている	60.0%	82.9%
生徒に対して、本やインターネット等を使い、資料を調べさせる指導を行っている	20.0%	48.0%
生徒が資料を適切に使って発表するような指導を行っている	20.0%	60.2%
生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすくまとめ、書かせる指導を行っている	40.0%	73.3%
生徒が話し合う場面を取り入れた指導を行っている	60.0%	71.0%

自主活動について・・・生徒の自主性を伸ばすための取組みや、集団づくりのための取組みが進んでいる。中学校においても「セカンドステップ」の取組みが広がりつつある。		
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府
学校全体で、生徒の集団づくりのための具体的な取組みを行っている	100.0%	95.9%
生徒一人ひとりの気持ちをつかむための具体的な取組みを行っている	100.0%	94.8%
生徒会活動等について、主体的な活動を促すように指導を行っている	100.0%	97.4%

学習状況調査の結果について・・・分析結果を授業改善に反映させ、学校全体で組織的に活用する仕組みが確立している。しかし、保護者や地域の人たちへの公表・説明、働きかけの面で課題がある。		
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府
大阪府学力・学習状況調査等の自校の結果を分析し、指導計画等の作成や普段の授業改善に反映させている	80.0%	89.2%
大阪府学力・学習状況調査等の自校の結果を調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で活用している	80.0%	84.4%
大阪府学力・学習状況調査等の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行っている	40.0%	84.0%
大阪府学力・学習状況調査等や学校評価の結果などを踏まえた学力向上の取組みについて、保護者や地域の人たちに対して働きかけを行っている	60.0%	72.1%

学校経営について・・・地域との連携、地域人材の活用については進んできている。ホームページの活用や学校公開日を設けるなど、「開かれた学校」についてさらなる取組みを進めることが望まれる。授業改善に関する取組みや研究を進めるための校内研修など、職員集団の資質向上のための取組みも進んでいる。		
質 問 事 項	泉佐野市	大阪府
地域の人材を外部講師として招聘した授業を行っている	60.0%	39.8%
ボランティア等による授業サポート（補助）を行っている	20.0%	41.7%
P T A や地域の人が学校の諸活動にボランティアとして参加している	100.0%	82.9%
学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加している	80.0%	61.4%
学校の教育活動の情報について、月に1回以上の頻度でホームページを更新した	60.0%	76.2%
地域の人が自由に授業参観などができる学校公開日を設けている	40.0%	74.3%
学校教育目標などにあわせて、学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っている	100.0%	91.1%
教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしましたか	100.0%	94.8%
教職員集団は何事にも積極的に取り組もうという雰囲気がありますか	100.0%	95.5%
日常的に教職員同士で、指導方法について相談し合っていますか	100.0%	95.2%